

1 概況

知多西岸地区北部と西三河地区西部では冷蔵網の1回目の摘採を行っているところですが、一方、その他の地区では、冷蔵網への張替えを行っているか、秋芽網の2～5回目の摘採を実施しています。知多西岸地区及び東岸地区の栄養塩は一部を除き概ね回復傾向となりました。西三河地区の栄養塩は西部でやや減少しました。植物プランクトンについては、少ない状態が続いています。潮位については、直近で高めに推移していますが、変動が大きく、支柱で生産する場合は特に留意が必要です。水試パイ観測の平均水温及び漁業生産研究所の観測水温は平年よりはやや高い値で推移しています。食害対策はできる限り継続してください。

2 気象・海況

<b>&lt;水温&gt; 1月3日</b>		<b>&lt;水温&gt; 1月4日</b>		<b>&lt;潮位偏差&gt; 1月3日</b>	
2～3号 パイ平均 (-3.5m)	日平均水温 9.9 °C 平年差 +0.9 °C	漁生研 (-3.0m)	10時水温 12.0 °C 平年差 +0.5 °C	名古屋港	5日平均* +5 cm 偏差 +11 cm

※12月30日～1月3日までの平均

**<栄養塩・赤潮>** (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西岸地区	北部:多い、中南部:やや多い～やや少ない	なし	植物プランクトンはほとんどいない～やや多い
知多東岸地区	やや多い～やや少ない	なし	植物プランクトンはほとんどいない
西三河地区	多い～やや多い	なし	植物プランクトンは散見される
東三河地区	本年度の調査終了		

※基準(単位:  $\mu\text{g/L}$ ) 多い:121～、やや多い:81～120、やや少ない:41～80、少ない:～40

※植物プランクトン基準(単位:細胞/mL) 多い:10,000～、やや多い:5,000～10,000、少ない:1,000～5,000、散見:100～1,000、ほとんどいない:～100

**<気温動向の予測>** (気象庁予報より 予報期間:12月28日～1月4日)

今後1週間	最高気温と最低気温はともに、平年より高い日が多く、期間の始めは最高気温がかなり高くなる日もある見込みです。
-------	---

3 クロノリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病・障害	冷蔵網の張り込み等
知多西岸地区	秋芽:2～5回 冷蔵:0～1回	300～1,000	概ね良好	一部でカモ、魚	一部であかぐされ	順次張り替え
知多東岸地区	秋芽:3～4回	800～1,200	概ね良好	一部でカモ、魚	目立った病障害はなし	張替えなし又は適宜張り替え
西三河地区	冷蔵:0～1回	150～300	概ね良好	カモ、魚 ひどくない程度	なし	すでに完了
東三河地区	秋芽:2～3回	1,000	概ね良好 一部で色調低下	一部で魚	なし	張り替えなし

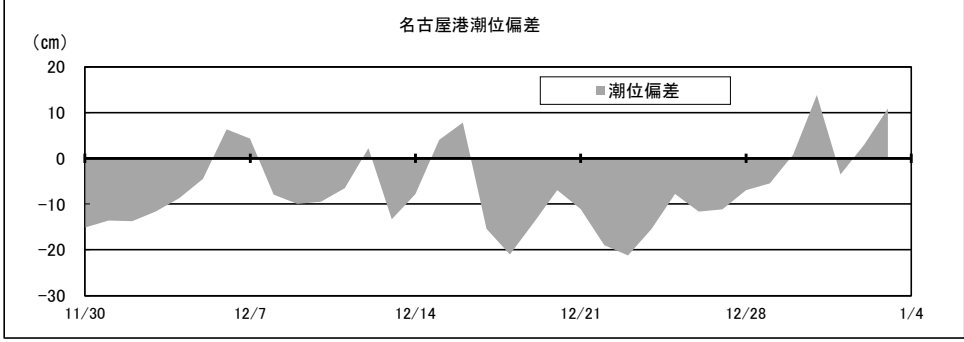
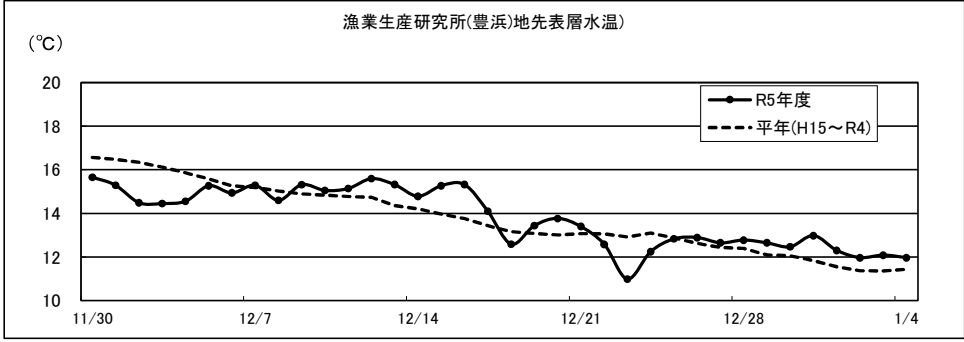
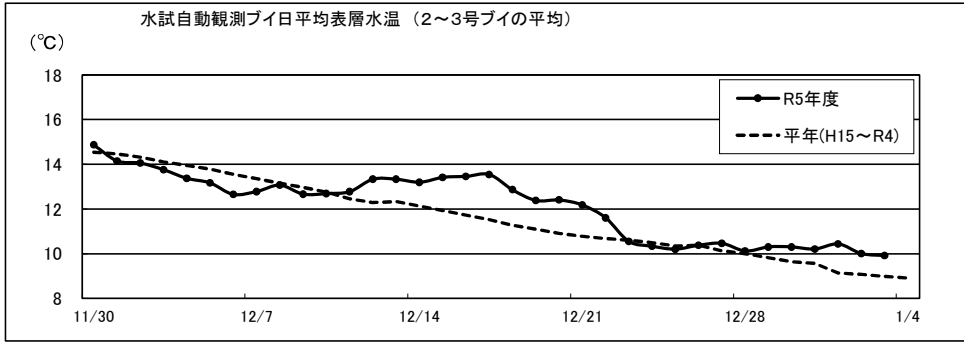
4 今後の管理

- あかぐされ病、スミノリ症等の病害予防のため、冷蔵網は日中に干出が充分かかる高さに張り込むこと。
- 食害が発生している漁場では、防除網等の対策に努めること。
- 早期摘採と摘採後の適切な養殖管理を励行し、病障害の予防と製品の向上に努めること。

水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測パイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ 次回は1月11日(木)発行予定です。

# 伊勢湾・三河湾海況データ



## 栄養塩調査結果

